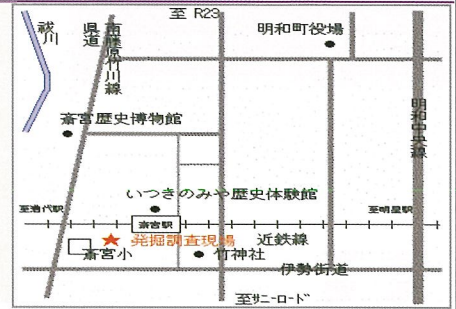


さいくうあと通信

発行 明和町役場 斎宮跡・文化観光課
(明和町大字馬之上 945 番地)
電話: 0596-52-7126 FAX: 0596-52-7133
E-mail: saikuuato@town.mie-meiba.lg.jp

史跡斎宮跡 (斎宮小学校東側)で 古墳時代から平安時代の遺構を多数確認

—史跡斎宮跡 第178-4次調査を実施—



遺跡の発掘調査はこんなふうに進められているんだね。どうして土の色が違うの？

それは、昔の人が掘った場所は黒い土が埋まるからなのです。逆に黄色い土の部分は自然のままの土が残っています。

つまり、黒い土の部分を掘っていくと、昔の人が造った家や溝の形を再現することができます。



たくさんの土器が出てる！ いったいどんなものが出てきたの？

今回の調査では、平安時代の溝や斎宮が造られる前の時代の古墳や竪穴住居などが見つかり、特に右の写真のように土器もまとめて出土しました。

ここからは、当時の暮らしの中で、一般人では使えない緑釉陶器(りょくゆうとうぎ)という土器も出土しました。



斎宮の歴史について今回の調査では、どんなことがわかったの？教えて！

今回の調査では、まとめて土器が出土した溝が見つかり、それが斎宮を支える役所のような建物を囲む溝であることがわかりました。

そのほかにも、古墳にお供えされていた土器も出土し、斎宮が造られる前の様子も解明されました。



発掘調査の実施方法として、地面の黒い土と黄色い土を見分けながら掘り進めています。



調査区域の一部において、平安時代の土器がまとめて出土しました。



今回の調査区から出土した古墳時代～平安時代の土器(緑色の土器が緑釉陶器)



現地説明会には多くの方に来ていただきました。ありがとうございました。



史跡 齋宮跡 Area 開花年鑑 2013



～歴史・文化と華やかな植栽が融合する史跡 齋宮跡～

厳しかった寒さも次第に緩み、肌で春の訪れを感じる季節となりました。芝生広場は少しずつ緑を帯び始め、花垣のサザンカはカーペットのように鮮やかに舞散ります。1年中を通して彩り豊かな史跡”齋宮跡”華やかな春季から、透き通ったすがすがしい冬季まで、四季の移り変わりを齋宮跡でご体感ください。

齋宮跡 花暦	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
	白梅	桜	あやめ	シャクヤク	ノハナショウブ	あじさい	コスモス	イチョウ	モミジ	サザンカ	菜の花	紅梅

※開花する植物、場所及び開花時期は、年度ごとの植栽計画により異なる場合があります



「梅林(博物館体験広場)」
散策道を挟み、紅梅と白梅が時期を分けあって開花します。



「孤高の桜(齋王地区内)」
風格のある幹の周囲を整地しました。お花見に最適な場所です。



「シャクヤク(齋宮駅北側)」
白と桃の花びらが慎ましく開花するも時期が短い為、お見逃しの無いように。



「紅葉(ふるさと芝生広場)」
色付いた枝葉を眺めながら、ベンチでの休憩がお勧めです。



「ノハナショウブ(ロマン広場)」
1万本余りの紫紺の花弁が初夏の史跡内に彩りを加えます。



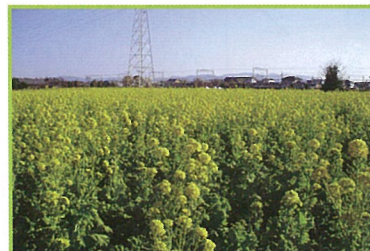
「コスモス畑(古代伊勢道周辺)」
秋風を感じながらの散策はとてもさわやかで心地良いです。



「イチョウ並木とドウダンツツジ」
博物館前の県道沿いが、黄と赤に彩られる景観は、落ち着いた晩秋の季節の訪れを感じます。



「サザンカ(齋王の森)」
春が近づくと、カーペットのように地面に散る様子も鮮やかです。



「菜の花畑(古代伊勢道沿い)」
広大な敷地に鮮やかな黄色の帯が咲き誇り、爽快な景色です。

◎ 史跡内の植物の開花状況等に関しては、明和町齋宮跡・文化観光課 (TEL 0596・52・7126) までお問い合わせ下さい。